



ドローンの基礎
About Drone

ドローン活用のメリット
New Era TOOL

ドローンと赤外線
の融合
DRONE×THERMAL

導入手順と費用
How to Start

ドローンの基礎

About Drone

1.航空機

ドローンは航空機です。
航空法を基に運用します。

2.開発から現在まで

開発から70年が経ち、ようやく一般
利用の有効性が示され、働き方改革や
業務効率化のツールになりました。

3.法規制の緩和

22年に規制が緩和され
活用の幅が広がり、
またハードルも下がりました。

1



2



3



4. 活用の幅

建設業、農業、災害現場、
活用の幅もここ2、3年で
大きく拡大しています。



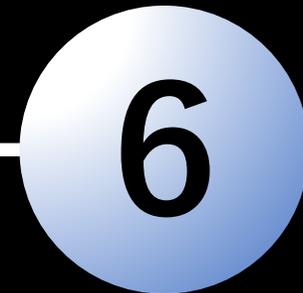
5. 機体の進化

例えば、今年は新たに40kgの荷物が
運べるドローンが市販で登場したり、
ハード面の進化の速度も著しいです。



6. 活用事例

当社においては、
ドローン活用事業において、
年間 約3,000万円を受注。



外壁, 屋根調査を事業化

ドローン活用のメリット

New Era TOOL



- **あらゆる角度** から撮影が可能。
- 取得データの **共有&記録**。
- 1棟分 & 全面を **1日** で完了。
- 高所作業に対する **安全性**

ドローンと赤外線の融合

DRONE×THERMAL

従来の赤外線調査の残念な点

撮影範囲

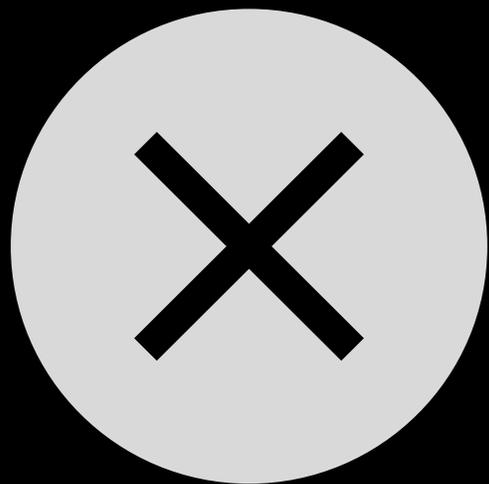
人が立ち入れるところまで。

画角

広範囲を撮影できない。

撮影角度

上層階は仰角が付きすぎて有効ではない。



ドローンを使った赤外線調査



範囲 & 画角

自由自在に撮影できる。

記録性

簡単にデータを記録 & 保管。

AIによるサポート

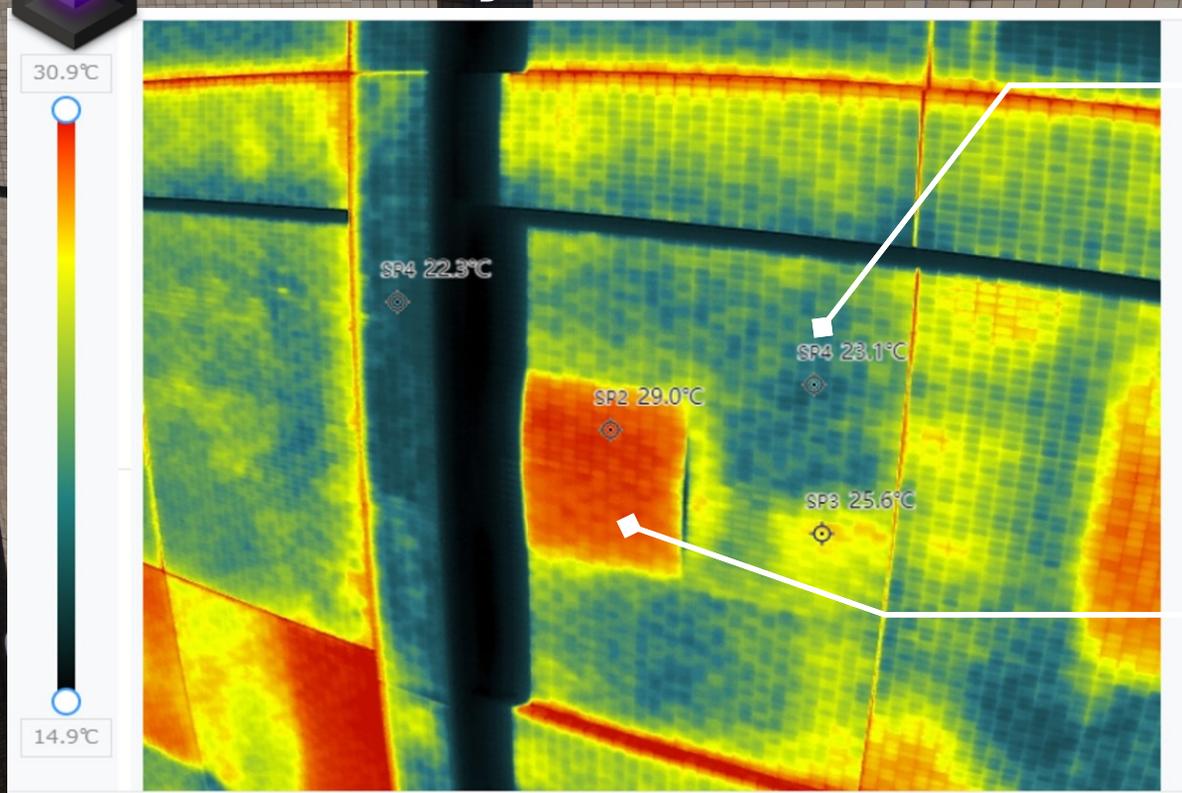
撮影の操作はAIがサポートしてくれる。



DRONE × THERMAL ドローンと赤外線融合



DJI Thermal Analysis Tool



正常：22.3～23.1℃(青)



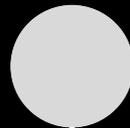
2～3℃以上の温度差は
“異常あり”

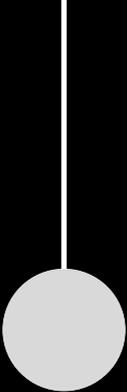
異常：25.6℃(黄)
29.0℃(赤)

導入手順と費用

How to Start

3 STEP でOK





STEP.1

目的をつくりましょう。



- 趣味(写真や映像など)
- 事業化
- 今の業務のサポートツールとして

STEP.2

必要なモノと費用。



資格取得のための講習



ドローン本体



エア-
AIR3 セット

¥350,000 (税別)



マビック
MAVIC3 Pro セット

¥550,000 (税別)



マトリス
Matrice30T セット

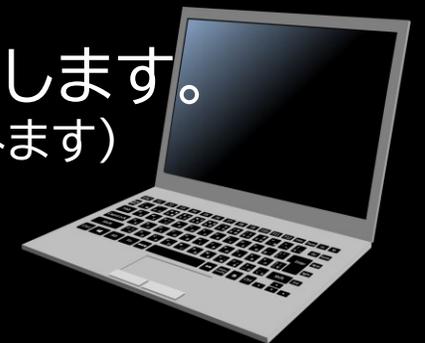
¥1,900,000 (税別)

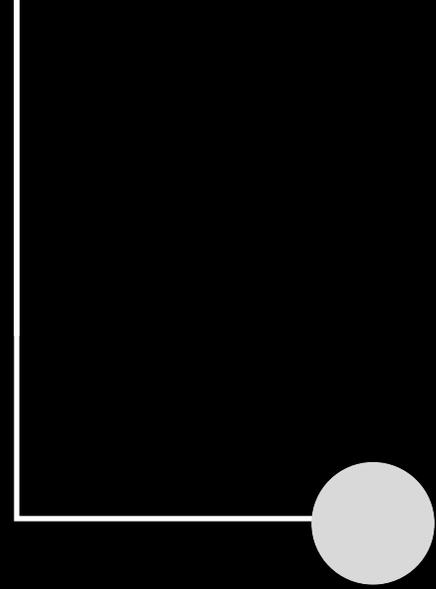
STEP.3

航空局へ登録をしましょう。

操縦者としての登録。
機体ナンバーの取得。

当社は登録手続きもサポートします。
(料金は先ほどのセット金額に含みます)





3つのステップで
ドローンは始められます。